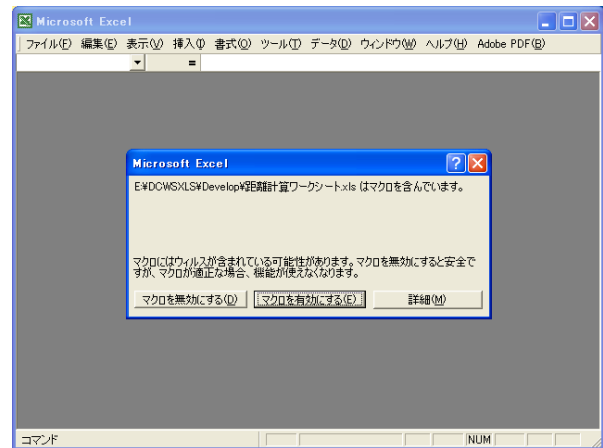


ACT 距離計算ワークシート for Excel

クイック操作ガイド

1. 起動

距離計算ワークシートを起動するには、Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「距離計算ワークシート」プログラムグループ内の「ACT 距離計算ワークシート」アイコンをクリックします。マイクロソフト Excel が起動し、マクロを有効にするかを確認するダイアログが表示されます。必ず「マクロを有効にする」ボタンをクリックしてください。



2. ログオン

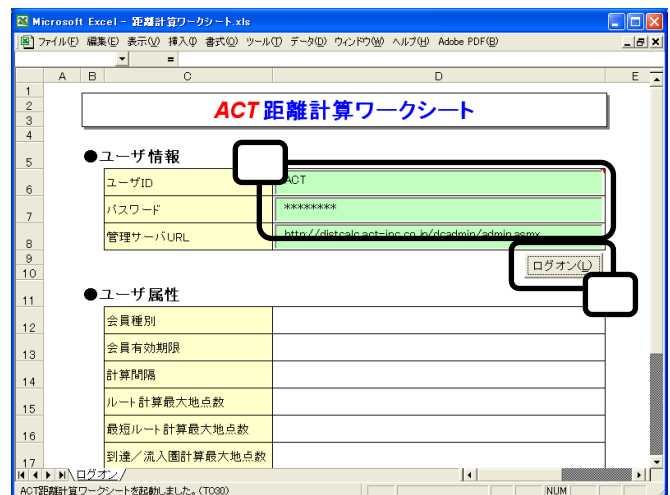
距離計算ワークシートで距離計算を行うには、ログオンする必要があります。

ログオンするには次の操作を行います。

ユーザ ID、パスワード等を入力

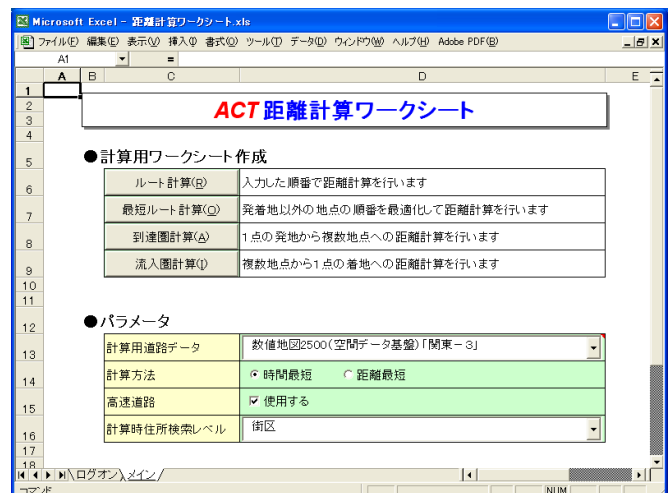
「ログオン」ボタンをクリック

ユーザ ID、パスワード、管理サーバ URL は、距離計算サービス申し込み後に弊社から送付された「ACT 距離計算サービス開始通知書」に記載されています。(体験版 CD-ROM の場合、CD ケースラベルの裏面にユーザ ID 等が記載されています)



3. メインワークシート

「メイン」ワークシート上部には、「ルート計算」、「最短ルート計算」、「到達圏計算」、「流入圏計算」の各計算用のワークシートを作成するボタンがあります。距離計算を行う場合、始めに計算したい種類のボタンをクリックし、計算用の新規ワークシートを作成します。また、「メイン」ワークシート下部には、計算時に使用するパラメータを設定することができます。



4. ルート計算 / 最短ルート計算ワークシート

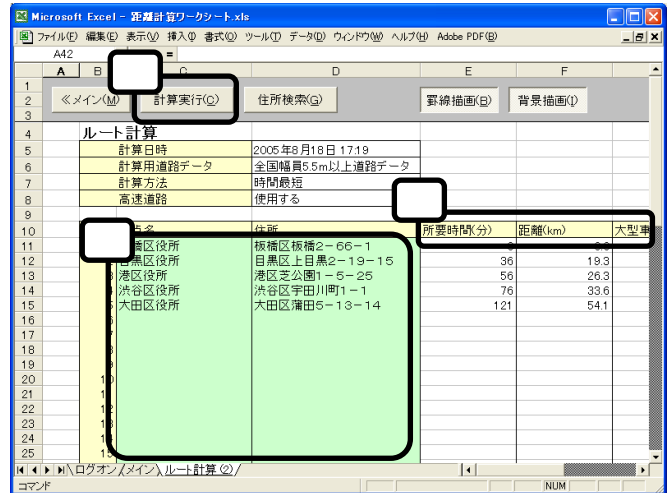
ルート計算、最短ルート計算を行うには、次の操作を行います。

計算したい地点の地点名と住所（または、郵便番号、住所コード、経緯度）を入力

「計算実行」ボタンをクリック

計算中は Excel のステータスバーに状況が表示されます。計算が正常に終了すると、入力した地点の右カラムに計算結果が表示されます。

また、計算結果のヘッダ部分（ ）は、表示する計算結果の項目を選択することができます。



5. 到達圏 / 流入圏計算ワークシート

到達圏計算、流入圏計算を行うには、次の操作を行います。

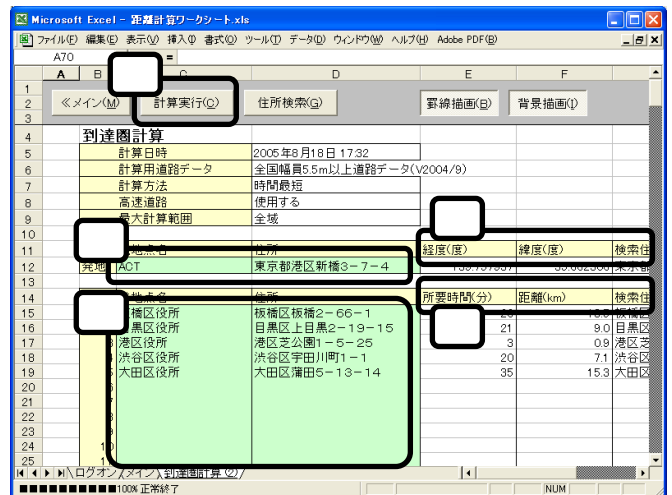
中心地点の地点名と住所（または、郵便番号、住所コード、経緯度）を入力

計算したい地点の地点名と住所を入力（または、郵便番号、住所コード、経緯度）

「計算実行」ボタンをクリック

計算中は Excel のステータスバーに状況が表示されます。計算が正常に終了すると、入力した地点の右カラムに計算結果が表示されます。

また、計算結果のヘッダ部分（ ）は、表示する計算結果の項目を選択することができます。



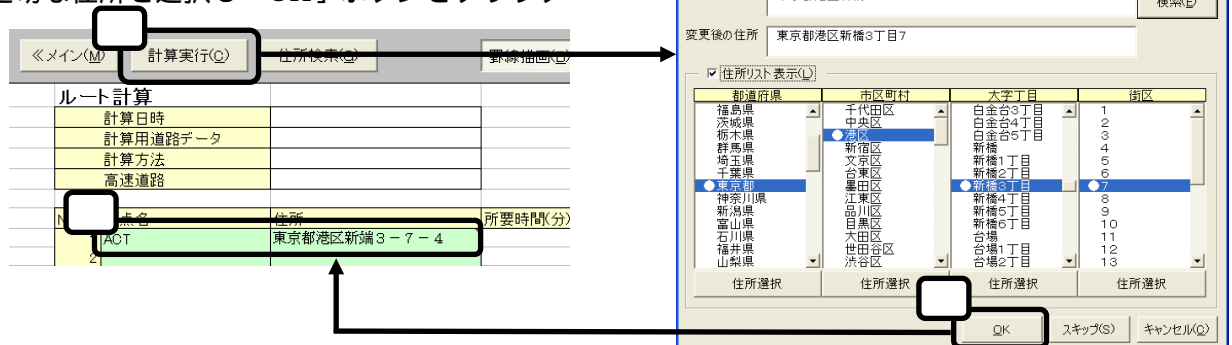
6. 住所検索

住所検索は、誤った住所を正しい住所に修正できます。住所検索を行うには、次の操作を行います。

住所検索を行う行（Row）を選択（複数行選択可）

「住所検索」ボタンをクリック

適切な住所を選択し「OK」ボタンをクリック



住所検索は、住所文字列以外にも郵便番号や住所コードに対しても検索を行うことができます。

以上